

下関市立大学広報

カリキュラム特集臨時号



海峡の英知。未来へ。そして世界へ。

公立大学法人

下関市立大学

Shimonoseki City University

2014年9月1日

カリキュラム特集臨時号

発行：下関市立大学広報委員会

〒751-8510 下関市大学町2-1-1

TEL. 083-252-0288

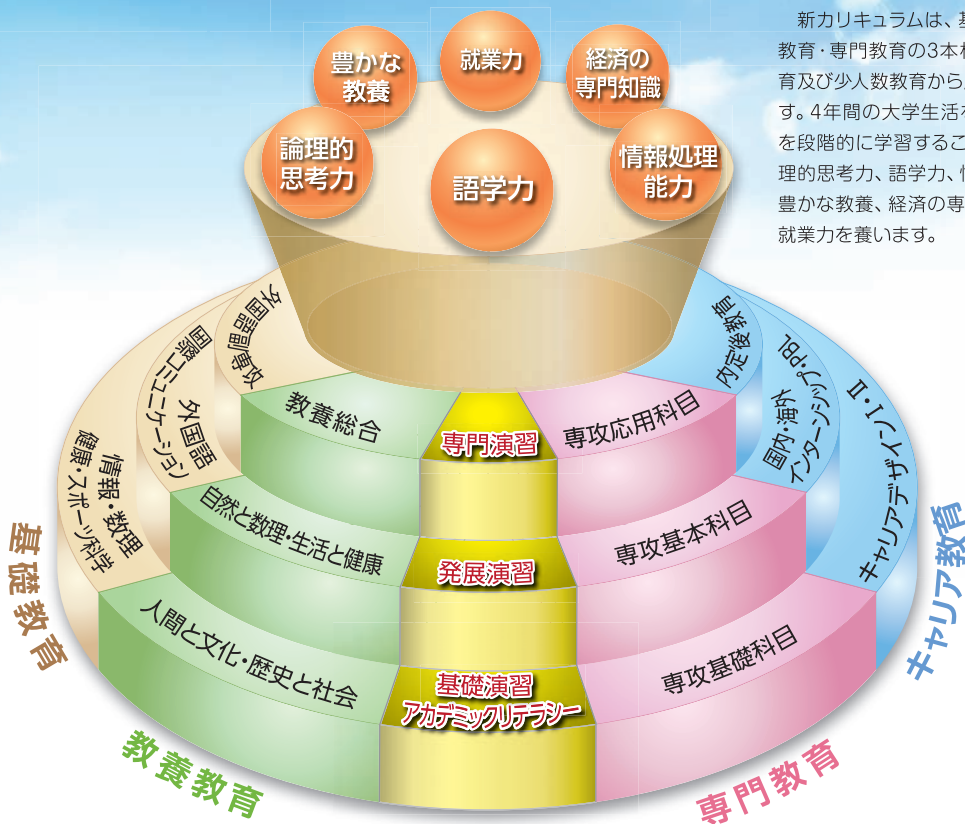
FAX. 083-252-8099

<http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/>

2015年度入学生より、新カリキュラムを実施します。新カリキュラムは、グローバル化をはじめとする経済社会の変化に対応した、充実した内容です。

新カリキュラムによって経済に関する専門知識を深く極めつつ、豊かな教養を裏付けとした、バランスのとれた幅広い視野をもつ高度職業人を育成します。

新カリキュラムは、基礎教育・教養教育・専門教育の3本柱とキャリア教育及び少人数教育から成り立っています。4年間の大学生活を通してこれらを段階的に学習することによって、論理的思考力、語学力、情報処理能力、豊かな教養、経済の専門知識、そして就業力を養います。



1年次から専門教育を配置し、段階的な学びを実施！

経済の専門科目について、基本を幅広く学んだ上で、自らの関心に応じて分野を選択し、専門性を高めることができます。

4年間を通じた少人数教育を実施！

1年次から少人数教育を受けることで、受験勉強とは違う「大学での学び」について修得します。体系的に発展させていくことで力が身に付き、学習の集大成として卒業論文を執筆します。

充実した外国語教育(外国語副専攻)を実施！

外国語は学ぶだけのものではなく、使うものです。特に外国語に関心のある学生に対して、外国研修や副専攻を履修することにより、実践的な学習や、専門知識と関連付けた学びも提供します。

ポイント1

1年次からの段階的専門教育

グローバル化の結果、現在の世界経済は相互に複雑に結びついています。たとえば、2008年に世界中が不況に陥ったリーマンショックは、アメリカで住宅価格が下落し住宅ローンの返済が滞ったことが、金融や貿易を通じて世界中に影響して生じたものでした。このように複雑に結びついている経済を理解するには、どんなテーマを学ぶにしても、そのテーマをしっかりと学ぶだけでなく、経済の仕組みを幅広く知っておく必要があります。

そこで、新カリキュラムでは、専門教育の科目を専攻基礎科目、専攻基本科目、専攻応用科目の3つに区分し、段階的に配置しています。

まず、1年次から専攻基礎科目を履修します。この科目を通じて、各学科で学ぶ内容の基礎的な知識を身につけます。

2年次から専攻基本科目が始まります。これは経済学科であれば、金融や財政学から国際貿易、地域論まで、経済学部の学生として知っておいてもらいたい基本的な知識を学ぶ科目です。今日の経済は相互に複雑に関連していることから、基本科目は複数のテーマを幅広く学習します。

3年次から専攻応用科目が始まります。この科目を通じて、2年次までに学んできた基礎・基本の知識をもとに、より応用的な問題に取り組みます。

このようなカリキュラムにより、基本を幅広く学んだ上で、自らの関心に応じて専門性を高め、グローバル化した現代社会に適應できる人材を育てます。



ポイント2

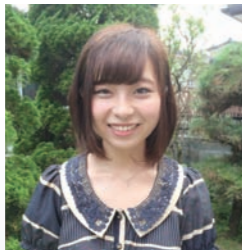
4年間を通じた少人数教育

新カリキュラムでは4年間を通じた少人数教育を提供します。1年次春学期のアカデミックリテラシーでは、高等学校のクラスに近い30名程度のクラスで、基礎演習・発展演習・

専門演習は10~20名の少人数で行い、学生にあわせてきめ細かい指導を実施します。

少人数教育で身についたもの

公共マネジメント学科1年
岩永 星利香さん
山口県立小野田高等学校出身

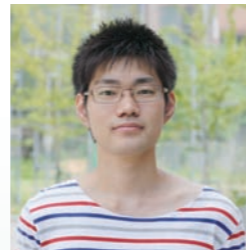


私が「基礎演習」を少人数教室で初めて受講した時は、大人数で受ける大講義室での授業とは異なり、自分の意見を発表せざるを得ない環境が少し不安でした。しかし学んでいくうちに、正しい答えはひとつだけでなく、それぞれが様々な考えをぶつけ合うことに意味があるのだと気づいてからは、自分の意見を堂々と話せるようになっていました。せっかくの良いアイデアも、言葉にしなければ伝わらず、なかったことになってしまうのは非常にもったいないことです。私は短い期間で、苦手としていた自分の思ったことを人前で発言する力を、自然と身につけることができました。

少人数教室で学ぶことに対して不安がある人も、きっと自分の発揮されていなかった力を見つけることができ、人として成長できると思います。

4年間少人数教育を受けて感じたこと

国際商学科4年
毛利 衛さん
大分県立竹田高等学校出身



大学の授業のほとんどは大講義室で行われるので、高校までの授業とは違います。それに対して少人数教育(ゼミ)では、10人から20人程度の人数で、あるテーマに関して学生が報告や議論を行うため、学生が先生と対話しやすい環境にあります。

1年次の「基礎演習」では、レポートやレジュメの書き方などを勉強しますが、3年次からの「専門演習」は、これまで大学の授業で勉強してきた専門知識を活かしながらゼミに臨みます。例えば、私のゼミでは、会計のビジネス書や病院経営に関するテキストを輪読しながら、企業や病院の会計を勉強してきました。私自身、ゼミでのプレゼンテーションや報告を繰り返しながら、少しずつですが会計に関する意見を言えるようになりました。こうしたゼミで身につけたことは、就職活動の面接やグループ・ディスカッションにも活かすことができました。

ポイント3

一層充実した外国語教育 - 外国語副専攻 -

本学では、従来から、外国語は、英語、中国語、朝鮮語から第一外国語を選択することができ、それぞれ語彙・文法・読解・聴解などの総合力を育成する授業に加えて、外国語を母国語とする教員による実習が設けられています。また、毎年、夏休み期間に希望者を対象に英語圏・中国・韓国への外国研修を実施しているほか、世界各地の10大学と友好交流協定を締結し交換留学などを実施しています。このよう

に、経済学部としては非常に充実した外国語教育を行っています。

新カリキュラムでは、これに加えて、意欲のある学生に対し、4年間を通じ外国語の理解を深める教養科目・演習・実践的学習を組み合わせて、高度な語学力を身につける、外国語副専攻の制度を設けています。これにより、一層充実した外国語教育を実施します。

外国研修を受けて

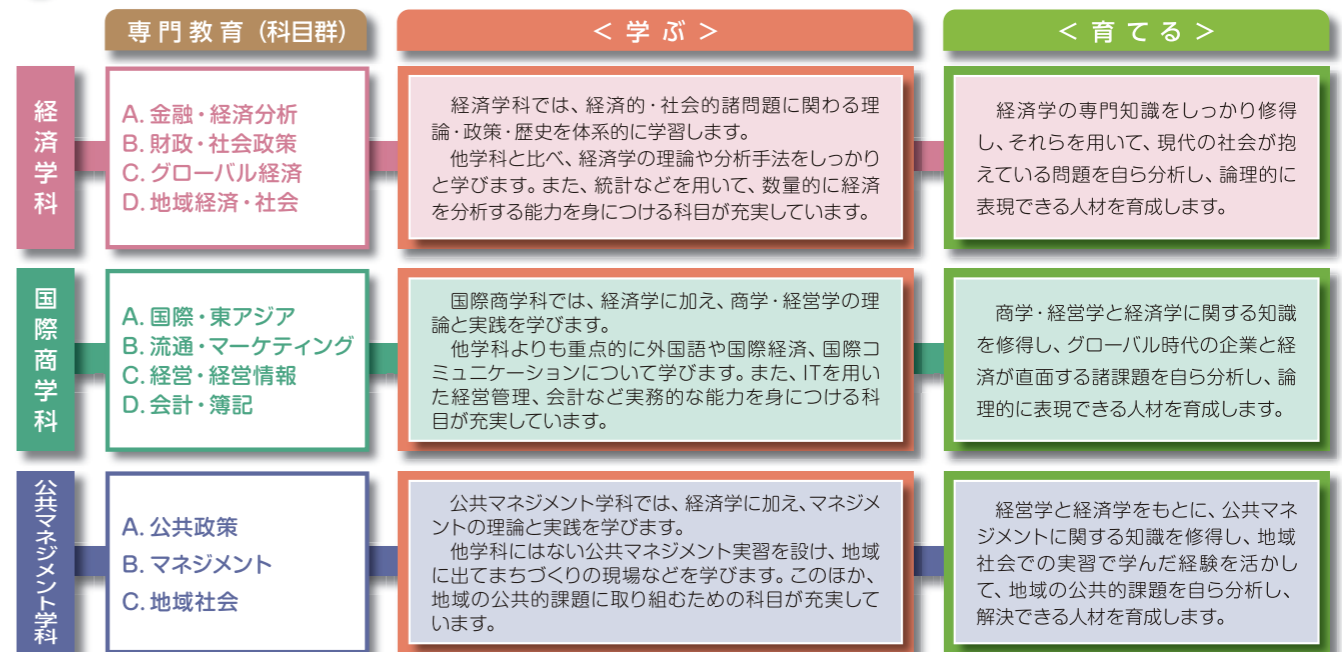


国際商学科3年 松本 悠汰さん 福岡県立東鷹高等学校出身

昨年ロンドンに3週間の外国研修に行きました。大学での授業では、リーディングとライティングを中心に学習していましたが、この研修ではスピーキングとリスニングの力が成長すると感じました。研修では、ペアもしくはグループでのディスカッションが中心なので、読み書きよりも聞いて話す能力のほうが重視されます。授業時間は大学と同じですが、常に一人一人が意見を述べ、先生やディスカッションで相手の言うことに対してレスポンスを考えていかなければならないので、大学の90分よりも長く感じました。

帰国後に驚いたことはTOEICのスコアです。散々だったリスニングが得意なライティングより点数が高かったことは、自信になりました。また、語学力だけでなく自分の価値観も変わった3週間だったので、そういった意味でも非常に有意義な研修だったと思います。

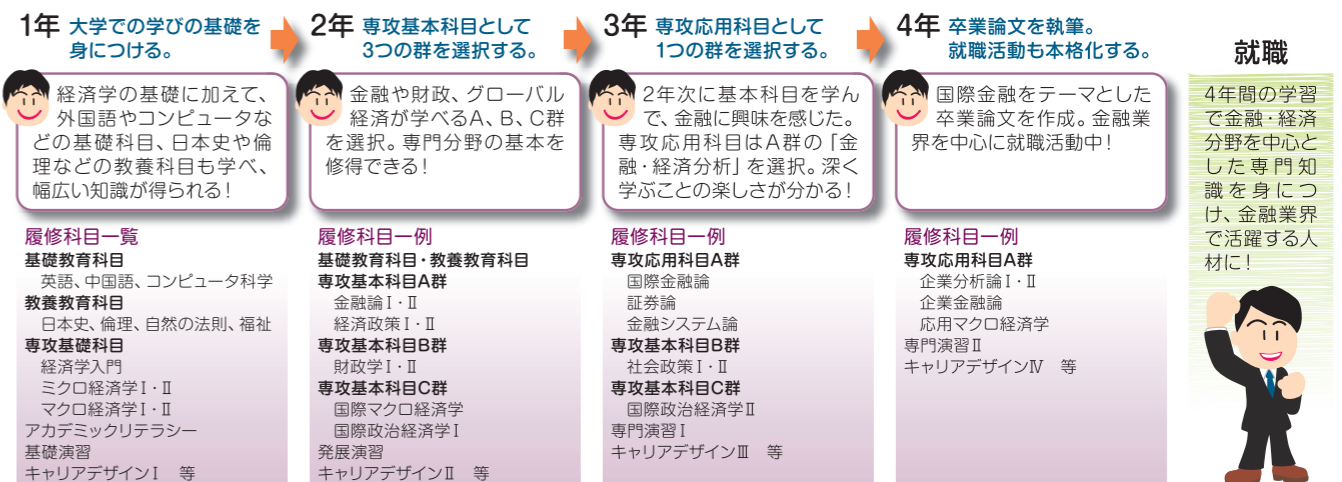
経済学部概要



4年間の学びの例



経済学科Sさんの場合



学生に聞きました! あなたが下関市立大学で 見つけたものは何ですか?

未来の自分を発見。

FIND it!



公共マネジメント学科3年
宮田 順平さん
鹿児島県立武岡台高等学校出身

日々の授業で新しく学ぶ知識だけではなく、学科やサークル、授業で出会った人々と交流したり、活動を共にしたりしたことが、自分自身への刺激となり、入学したときよりも一回りも二回りも成長できました。



経済学科2年
貴島 愛香さん
鹿児島県立出水高等学校出身

サークルの仲間と、イベントのボランティアスタッフを体験して、自分が楽しむために多くの人々の協力があつたということに気づかされました。逆に、より多くの人々が楽しむためには自分がどのような取り組みができるか考える、というような別の視点から見て物事を考えられるようになりました。



国際商学科2年
田内 祥汰さん
兵庫県立八鹿高等学校出身

大学では、物事の決断を迫られることが多くあります。自分がどうなりたいかを考え、意見や構想を持っていなければ、なんとなくの大学生活になってしまいます。選択の幅が広い本学だからこそ、自分自身に向き合って将来について真剣に「考え」、それに向け「決断」することの大切さに気づくことができました。



国際商学科3年
若松 明香さん
福岡県立東筑高等学校出身

勉強をして、家事をして、アルバイトをする中で、ずっと家族に支えられていたことに気づかされました。たくさん勉強して、しっかり働いて、家族に何倍も返せるように、と最高の動機をもつことができました。



公共マネジメント学科3年
佐藤 佑哉さん
岡山県立岡山一宮高等学校出身

学科やサークルなどで出会う友達は、全国各地から集まった人たちです。全国に友達がいることで、その地域に旅行することもできます。大学に入ると、一生付き合える友達ができます。その友達のおかげで、楽しく充実した生活が必ず送れます。



経済学科3年
梶谷 侑生さん
愛媛県立宇和島東高等学校出身

大学は高校までとは違い、すべて学生で行事の企画・運営などを行います。自分から主体的に行動を起こさなければ、何も無い4年間になってしまうので、主体性を大事に、意識して大学生活を送っていくべきです!



公共マネジメント学科1年
三原 達也さん
広島県立府中高等学校出身

大学の規模が小規模なため、講義の際も多くの友人と会います。友人達と助けあったり、楽しみながら大学生活を送れます。また、公共マネジメント学科は入学後すぐに合宿があり、そこで新しい友人関係をつくることができました。



国際商学科4年
名原 可菜子さん
広島市立舟入高等学校出身

大学に入り様々な境遇にある人と出会う機会が増えました。また、海外留学を通し様々な国の人と出会ったことで、固定観念にとらわれず広い視野で物事を考えられるようになりました。



公共マネジメント学科3年
西 公平さん
鹿児島高等学校出身

本学は、ゼミやサークル活動をはじめ、ボランティア活動にも参加しやすい環境のため、私も興味をもって参加することができました。多様な考え方や価値観をもつ学生も多く、視野を広げれば自分の活動の幅はいくらでも広がると実感しました。



経済学科3年
岡田 圭司さん
岡山県立津山高等学校出身

日々の講義やサークル活動など、大学生活の様々な場面で他の学生と繋がることで、授業や就職活動に関することなどの情報交換が行えます。また、オフィスアワーを活用し、先生方と繋がることも大切です。繋がることで、大学生活が充実したものに!



公共マネジメント学科2年
奥村 康大さん
島根県立松江北高等学校出身

大学生活を過ごす中で、異文化体験やボランティアなど様々なことに挑戦しています。そこで初めて多くの壁にぶつかり、悩み、苦しむ中で、多くの気づきが生まれ、自分自身を成長させることができました。



国際商学科4年
永野 愛さん
長崎県立西陵高等学校出身

大学4年間を通し、様々な人との出会いに恵まれ、世界が広がりました。本学は全国各地から特徴ある人が集まり、とても楽しいです。また、派遣留学でアメリカへ1年留学を経験し、様々なことを学び、自分の成長へと繋げることができました。

入試情報		募集人員			出願手続	試験日	試験会場	合格発表
		経済学科	国際商学科	公共マネジメント学科				
推薦入学	全国推薦	27名	27名	7名	11月4日(火)~11月11日(火)	11月22日(土)	下関	12月2日(火)
	地域推薦	A	29名	29名				
一般選抜	前期日程	52名	52名	16名	1月26日(月)~2月4日(水)	2月25日(水)	下関・広島・大阪・福岡	3月6日(金)
	公立大学中期日程	83名	83名	27名		3月8日(日)	下関・広島・大阪・福岡・鹿児島・高松	3月21日(土)
特別選抜	帰国子女	2名	2名	1名	11月4日(火)~11月11日(火)	11月22日(土)	下関	12月2日(火)
	社会人	2名	2名	1名				
	外国人留学生	若干名	若干名	若干名	11月27日(木)~12月5日(金)	12月20日(土)	下関	1月23日(金)
	第3年次編入学	8名	8名	4名	10月23日(木)~10月30日(木)	11月22日(土)	下関	12月2日(火)

下関市立大学のLINEページを開設しました!
 高校生・受験生に役立つ情報をお届けします。
 右のバーコードを読み取って(スマートフォンのみ)、友だち登録してね!

